

ひびき

hibiki

取手市議会だより第198号
2012(平成24)年8月1日発行

<紙面から>

取手市議会は、去る6月7日から21日までの間、平成24年第2回定例会を開催しました。

今定例会には、市長から、小中学校、道路、公園等の放射能除染を行うための補正予算や、臨時災害FM放送局開局のための補正予算等が提出されました。

また、今年新たに制定された議会基本条例に基づき、5月には議会報告会を、6月には講師をお招きして講演会を開催しました。

発行責任者／取手市議会議長 倉持光男
発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
ファクス 0297-74-1990
ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp

議会基本条例に基づき...

5月12日

議会報告会開催

5月12日、議会報告会を開催しました。この報告会は、議会基本条例に報告会の規定が制定されたため、条例に基づいた初めての報告会として実施いたしました。

報告会の内容は、第1回定例会の議決結果等を報告するものであり、当日は23名にご参加いただきました。終了後、参加者からいただいたアンケートには、「(開催)時間が短い」「報告の仕方に工夫が必要」等のご意見がありました。今後、いただいたご意見を基に改善を図り、よりよい報告会を目指します。

次回の報告会の開催日等につきましては、次号の議会だより、ひびきメール、ツイッター等でお知らせいたします。



議会報告会の様子

議会報告会アンケート結果 (抜粋)
(問) 議会報告会について、気づいた点

- ・議案の説明はもう少し短い方が良い
- ・配布された資料だけではわかりづらい
- ・報告用の資料を作り、それを基に報告すべき
- ・「ひびき」を見ての解説はあまり意味がない
- ・時間配分を報告50%、質疑・意見交換50%としては
- ・予算について内容量に対し時間が少なかったのがわかりにくい
- ・報告が早口で、議案の審議結果のみを発表しているという感が否めない
- ・議員も市民も要約して話してほしい
- ・一部の参加者の意見陳述になっていた
- ・あくびをしている議員がいた
- ・出席者が少ないので、お知らせ、呼びかけが必要
- ・市民の意識、意見が反映された市議会になるために報告会は不可欠

* アンケート結果は、市ホームページに掲載しています。



童門冬二先生

講演会を開催しました

テーマ「行財政改革の新たな視点」

去る6月16日、作家の童門冬二先生をお招きして、市議会主催の講演会を開催しました。この講演会は、議会基本条例により議員の政策立案・形成力を高めることを目的に行われました。

童門先生は、平成11年に取手市で創設されたエッセイコンクール「頑固者賞」の受賞作選者を務めていたなど、取手市と縁の深い高名な歴史小説作家です。代表作に「上杉鷹山」があり、取手市台宿に墓所があり

る徳川家康の家臣、「鬼作左」こと本多作左衛門重次についての著作もあります。

講演会当日も、歴史上の人物のエピソードを現代に置き換えるなどして、日本の政についてお話しいただきました。

また、この講演会には市民の方にもご参加いただき、100名を超える方々にお聴きいただきました。今後、議員のみならず、市民の皆様と一緒に資するような講演会を開いていきます。